

イーストスプリング・
インド国債ファンド
(3ヵ月決算型) / (年2回決算型)
愛称：+αインド国債
(プラスアルファインド国債)

追加型投信 / 海外 / 債券

作成対象期間 2025年8月26日～2026年2月24日

(3ヵ月決算型)

第3期 2025年11月25日決算

第4期 2026年2月24日決算

(年2回決算型)

第2期 2026年2月24日決算

(3ヵ月決算型)

日経新聞掲載名：+αイ債3M

第4期末(2026年2月24日)	
基準価額	10,029円
純資産総額	94百万円
第3期～第4期	
騰落率	1.6%
分配金(税込み)合計	200円

(年2回決算型)

日経新聞掲載名：+αイ債年2

第2期末(2026年2月24日)	
基準価額	10,319円
純資産総額	107百万円
第2期	
騰落率	1.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドの現地通貨建ての国債に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

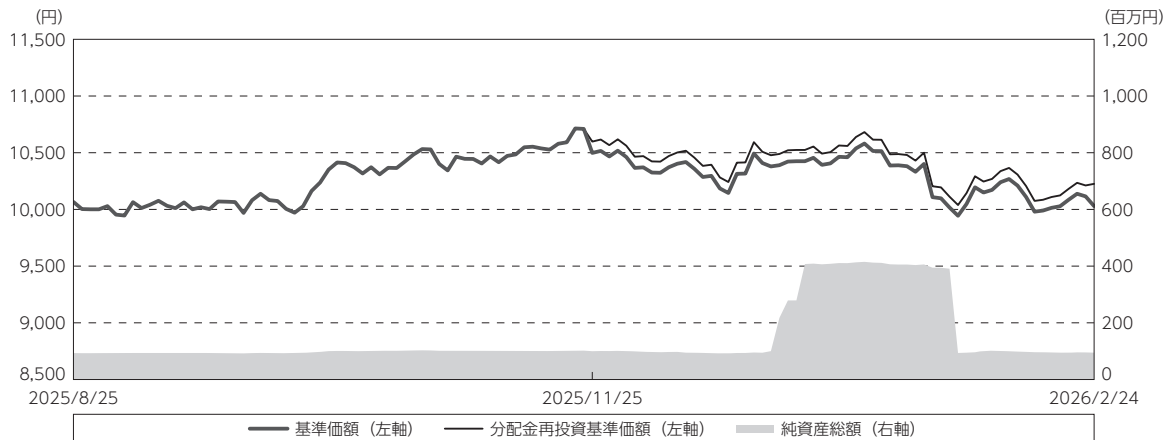
ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

(3ヵ月決算型)

基準価額等の推移について

(2025年8月26日～2026年2月24日)



第3期首：10,066円

第4期末：10,029円 (既払分配金(税込み)：200円)

騰落率：1.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2025年8月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額(分配金再投資)は上昇しました。

(上昇要因)

- ・投資している債券価格の上昇。
- ・インドルピーの対円での上昇。

1万口当たりの費用明細

(2025年8月26日～2026年2月24日)

項 目	第3期～第4期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	44	0.425	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(28)	(0.276)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.138)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	20	0.193	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.044)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.010)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(4)	(0.041)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(10)	(0.097)	信託管理事務に係る手数料およびインド税務代理人に対する手数料等
合 計	64	0.618	
作成期間の平均基準価額は、10,256円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

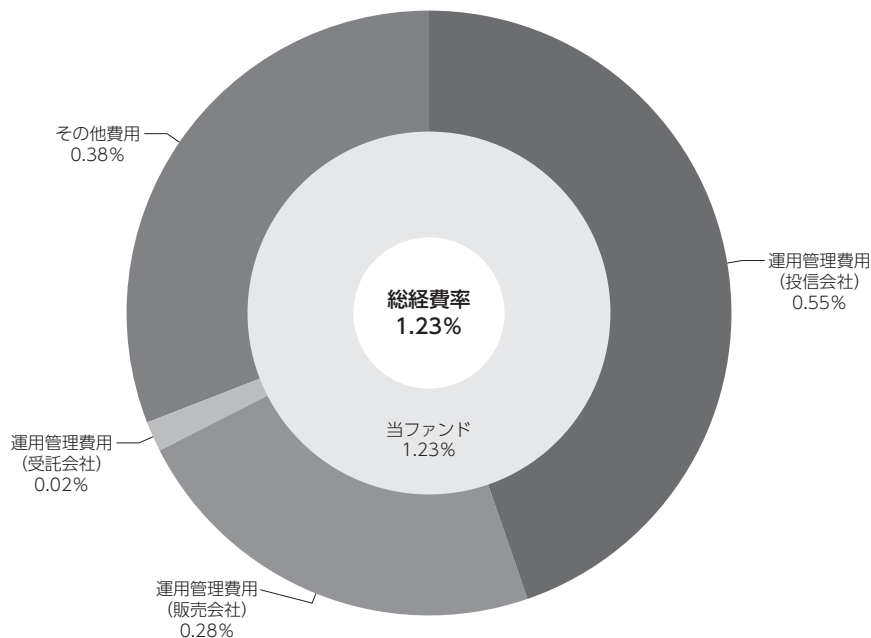
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.23%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年2月24日～2026年2月24日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの設定日は2025年2月28日です。

	2025年2月28日 設定日	2026年2月24日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,029
期間分配金合計(税込み) (円)	—	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.3
純資産総額 (百万円)	66	94

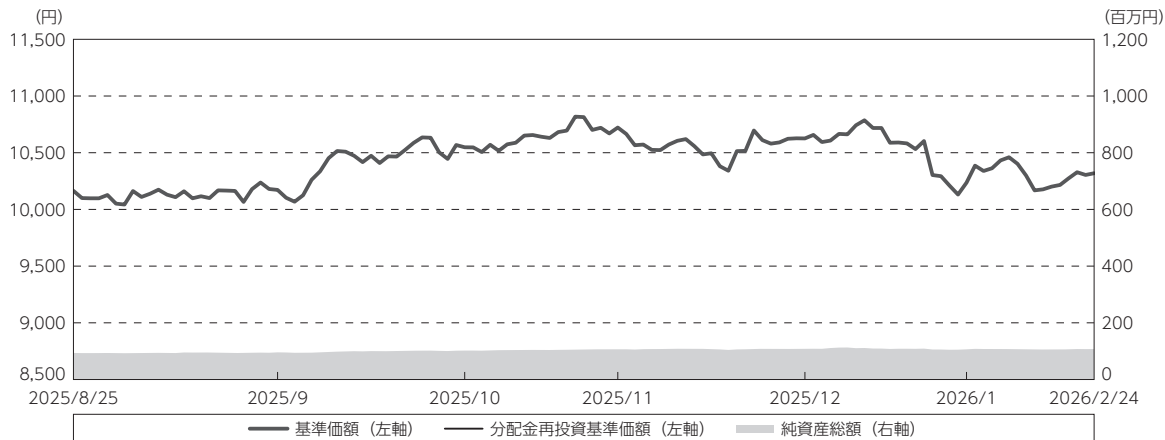
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2026年2月24日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

運用経過

(年2回決算型)

基準価額等の推移について

(2025年8月26日～2026年2月24日)



期首：10,164円

期末：10,319円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 1.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年8月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・投資している債券価格の上昇。
- ・インドルピーの対円での上昇。

1 万口当たりの費用明細

(2025年8月26日～2026年2月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	44	0.425	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(29)	(0.276)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.138)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	27	0.255	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0.061)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.010)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(4)	(0.040)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(15)	(0.144)	信託管理事務に係る手数料およびインド税務代理人に対する手数料等
合 計	71	0.680	
期中の平均基準価額は、10,405円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

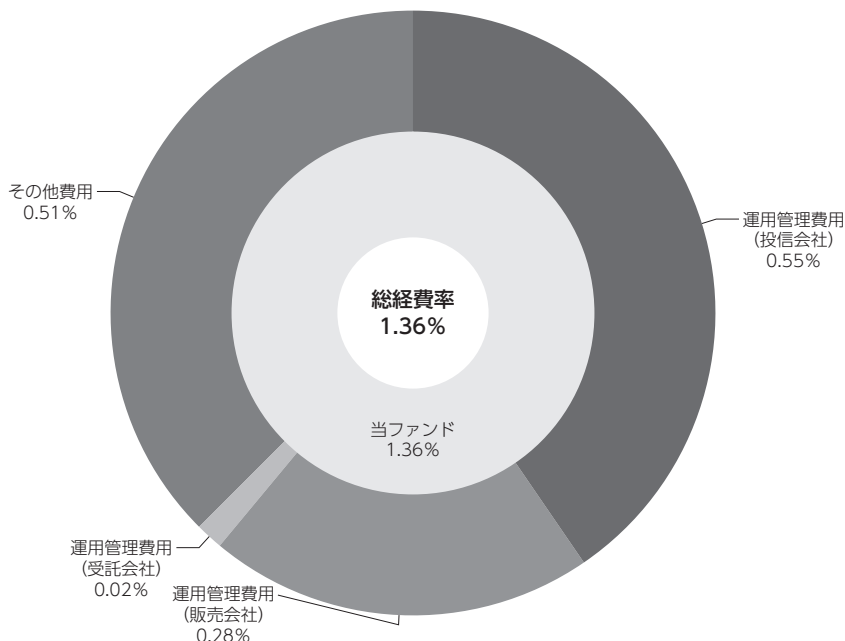
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.36%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年2月24日～2026年2月24日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの設定日は2025年2月28日です。

	2025年2月28日 設定日	2026年2月24日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,319
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.2
純資産総額 (百万円)	62	107

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2026年2月24日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りは当（作成）期を通じてみると上昇しました。

当（作成）期首から2025年11月まで、インド準備銀行（RBI、中央銀行）による金融緩和的な姿勢やインフレの鈍化などを背景に、インド10年国債利回りは低下しました。RBIは12月の金融政策決定会合で政策金利を0.25%引き下げました。12月以降は、市場流動性のひっ迫、米国債などの利回り上昇の影響、また2026年2月に公表されるインド国家予算案で国債が増発される可能性への懸念などを背景に、インド10年国債利回りは上昇しました。

為替市場

インドルピーは対円で上昇しました。

2025年8月初旬に、米国がインドからの輸出品に対して最大50%の関税を課すと発表したことが嫌気され、その後も米印間の貿易交渉が長引いたため、当（作成）期首から2026年1月まで、インドルピーは対米ドルで下落しました。2026年2月初旬に米印間で貿易交渉が合意に達したことで、貿易をめぐる不透明感が後退し、インドルピーは対米ドルで下落幅を縮小させました。一方、米ドル円相場は2025年10月に、積極財政方針を背景とした財政悪化懸念が高まったことなどから長期金利が上昇し、円安米ドル高が進みましたが、2026年1月下旬には、日米の金融当局による為替介入警戒を背景に、円高米ドル安が急激に進む局面もありました。当（作成）期を通じてみると、円安米ドル高となり、インドルピーは対円では上昇しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド国債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの国債に投資しました。

イーストスプリング・インド国債マザーファンド

主としてインドの現地通貨建ての国債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(3ヵ月決算型)

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項 目	第3期	第4期
	2025年8月26日～ 2025年11月25日	2025年11月26日～ 2026年2月24日
当期分配金	100	100
(対基準価額比率)	0.944%	0.987%
当期の収益	100	84
当期の収益以外	—	15
翌期繰越分配対象額	497	582

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) —印は該当がないことを示しています。

(年2回決算型)

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項 目	第2期
	2025年8月26日～ 2026年2月24日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	501

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）

引き続きイーストスプリング・インド国債マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド国債マザーファンド

インド国内の経済活動や経済指標などからは、景気の底堅さがうかがえます。また、2026年2月初旬に米印間で貿易交渉が合意に達したことで、貿易交渉をめぐる不透明感が後退しました。一方、インフレ率は落ち着いた水準で推移していますが、今後、経済成長が徐々に回復するにつれて需要が増加し、緩やかに加速すると見込んでいます。

RBIは2月の金融政策決定会合で政策金利を据え置くとともに、前回会合で見られたハト派的姿勢をやや後退させました。それでもRBIは、引き続き緩和的な金融スタンスを維持し、公開市場操作（OMO）による国債購入や通貨スワップなどの流動性供給策を通じて、積極的に債券市場に介入すると考えており、このためインド国債は引き続き支えられると見ています。投資戦略としては、利回りが一段と上昇する局面では長期ゾーンを買い増し、デュレーションを長期化することを検討して参ります。

お知らせ

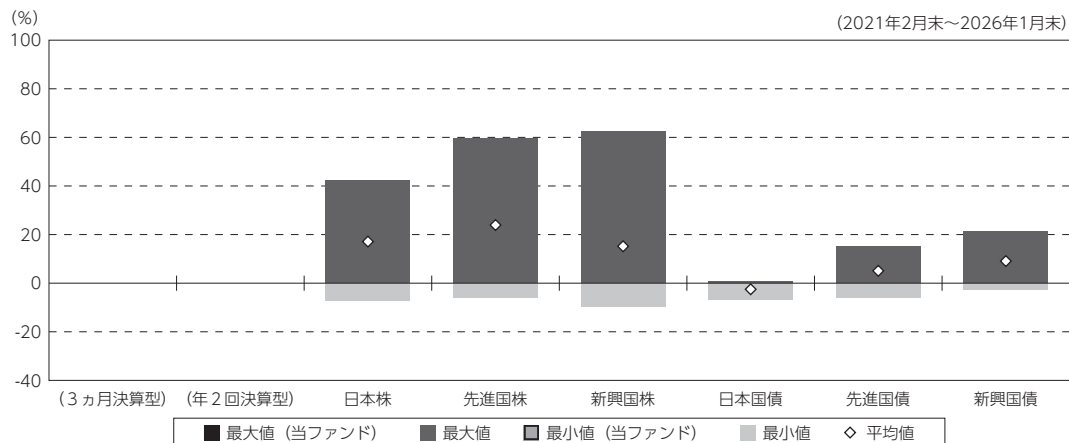
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2025年2月28日設定）	
運用方針	イーストスプリング・インド国債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの現地通貨建ての国債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）	イーストスプリング・インド国債マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド国債マザーファンド	主としてインドの現地通貨建ての国債に投資します。なお、国債以外のインドの現地通貨建てのソブリン債にも投資する場合があります。
運用方法	イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。・投資信託証券（マザーファンドの受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
	イーストスプリング・インド国債マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。・投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
分配方針	(3ヵ月決算型) 毎年2月、5月、8月、11月の各24日（休業日の場合は翌営業日） (年2回決算型) 毎年2月24日および8月24日（休業日の場合は翌営業日） 原則として各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	(3ヵ月決算型)	(年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	-	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	-	-	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	-	-	17.1	23.9	15.2	△ 2.5	5.1	9.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年2月から2026年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

(3ヵ月決算型)

当ファンドの組入資産の内容

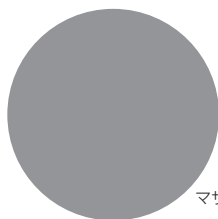
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第4期末
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	101.5 %
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

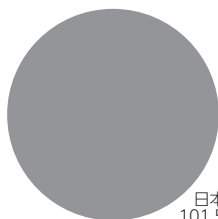
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

○資産別配分



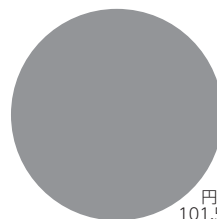
マザーファンド
101.5%

○国別配分



日本
101.5%

○通貨別配分



円
101.5%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

純資産等

項 目	第3期末	第4期末
	2025年11月25日	2026年2月24日
純資産総額	99,855,106円	94,732,676円
受益権総口数	95,119,982口	94,460,143口
1万口当たり基準価額	10,498円	10,029円

(注) 当作成期間(第3期~第4期)中における追加設定元本額は320,628,343円、同解約元本額は318,831,178円です。

ファンドデータ

(年2回決算型)

当ファンドの組入資産の内容

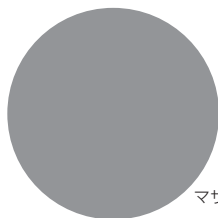
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第2期末
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	100.5%
組入銘柄数	1銘柄

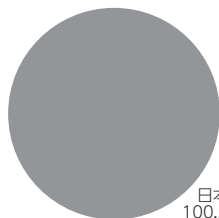
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

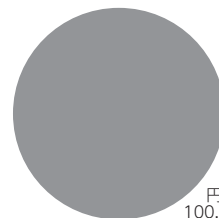
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

純資産等

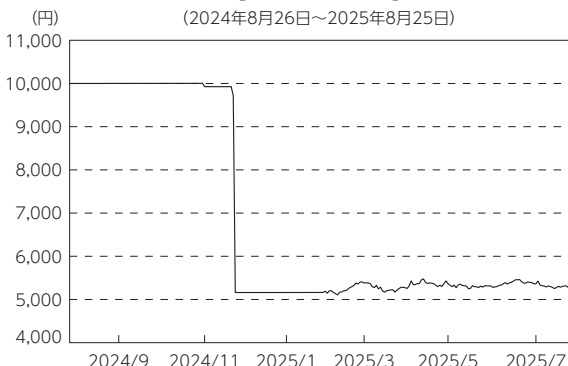
項 目	第2期末
	2026年2月24日
純資産総額	107,408,722円
受益権総口数	104,091,509口
1万口当たり基準価額	10,319円

(注) 当期中における追加設定元本額は32,755,975円、同解約元本額は20,884,553円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング・インド国債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年8月26日～2025年8月25日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	48	0.695
(保 管 費 用)	(17)	(0.244)
(そ の 他 1)	(31)	(0.451)
合 計	48	0.695

期中の平均基準価額は、6,840円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2025年8月25日現在)

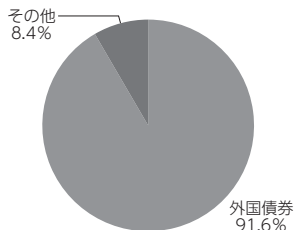
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	インド国債 7.1% 2034/4/8	国債	インドルピー	インド	34.8
2	インド国債 7.18% 2033/8/14	国債	インドルピー	インド	21.5
3	インド国債 7.18% 2037/7/24	国債	インドルピー	インド	15.4
4	インド国債 7.3% 2053/6/19	国債	インドルピー	インド	6.8
5	インド国債 7.09% 2054/8/5	国債	インドルピー	インド	4.9
6	インド国債 6.92% 2039/11/18	国債	インドルピー	インド	3.0
7	インド国債 7.54% 2036/5/23	国債	インドルピー	インド	1.9
8	インド国債 6.79% 2031/12/30	国債	インドルピー	インド	1.8
9	インド国債 7.23% 2039/4/15	国債	インドルピー	インド	1.4
10	—	—	—	—	—
	組入銘柄数		9銘柄		

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

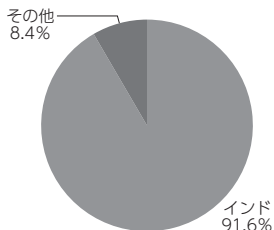
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

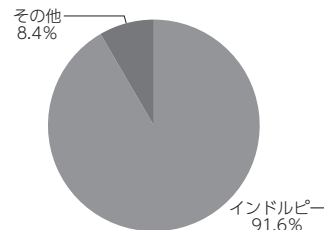
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。